

サンタクロースの部屋

校長 前田 佳弘

毎年、この時期になると思い出す文章があります。

『くまのパディントン』シリーズの翻訳等で知られる児童文学者で、今年文化功労者に選ばれた松岡享子さんの著書『サンタクロースの部屋』（こぐま社1978）に収められているものです。

もう数年前のことになるが、アメリカのある児童文学評論誌に、次のような一文が掲載されていた。

「子どもたちは、早かれ遅かれ、サンタクロースが本当はだれかを知る。知ってしまえば、そのこと自体は他愛のないこととして片付けられてしまうだろう。しかし、幼い日に、心からサンタクロースの存在を信じることは、その人の中に、信じるという能力を養う。わたしたちは、サンタクロースその人の重要さのためではなく、サンタクロースが子どもの心に働きかけて生み出すこの能力ゆえに、サンタクロースをもっと大事にしなればいけない」というのがその大要であった。

この能力には、たしかキャパシティーということばが使われていた。キャパシティーは、劇場の座席数を示すときなどに使われることばで、収容能力を意味する。

心の中に、ひとたびサンタクロースを住ませた子は、心の中に、サンタクロースを収納する空間をつくりあげている。サンタクロースその人は、いつかその子の心の外へ出ていってしまうだろう。だが、サンタクロースが占めていた心の空間は、その子の中に残る。この空間がある限り、人は成長に従って、サンタクロースに代わる新しい住人を、ここに迎え入れることができる。

学校の役割の一つに、多様な学びを通して、子供たちの心の中の「サンタクロースを収納する空間」を広げることがあると思います。そこに住ませるのは、例えば国語科の『モチモチの木』の豆太であったり、社会科で調べた人々の思いであったり、理科で観察する自然現象の不思議さであったりします。

「学校で勉強したことなんか実生活の役に立たない」と言い捨てる向きもあります。小学校で学ぶようなことは、大人の目から見れば確かに他愛のないことで、やがて子供たちの記憶からは薄れていくでしょう。

けれども、学んだことが占めていた心の中の空間が広げれば広いほど、その後を訪れる新しい学びを確実に迎え入れ、学ぶことのよさや大切さを信じるができるようになると思います。

今月9～10日、6年生の宿泊学習に同行しました。2日間ともこの時期にはめずらしい好天に恵まれ、野外での活動を存分に楽しむことができました。指導員の方が「この施設で12月にやるのは初めてだ」とおっしゃっていたバルーン水ロケットの活動では、少し冷たくなった風が吹く中、水しぶきを浴びながらポンプを押したり、歓声をあげて水ロケットを追いかけたりしていく子供たちの姿がありました。

はた目にはただ遊んでいるように見えますが、子供たちは、ロケットに注ぐ水の量やポンプで押し込む空気の量、飛ばす角度を仲間と話し合っ調整し、何度か失敗をしながらも、100mを超える飛距離を出していました。この活動を通して、子供たちの心の中には、仲間と協力して学ぶことのよさを住ませた広々とした空間がつけられたものと捉えています。仲間と思いを共有する心地よさも一緒に収めた空間は、このあと仲間と共鳴したり共感したり協調したりする働きも具えてくれるのではないかと期待しています。

夏休み中に予定しながら延期となった宿泊学習を待ち望んでいた子供たちでした。その様子をどこかで見ていたサンタクロースが、少し早いクリスマスプレゼントを届けてくれたのかもしれない。

特別メニュー「なんと自然給食ものがたり」

14日（火）の給食は「なんと自然給食ものがたり」のメニューでした。「なんと自然給食ものがたり」とは、南砺市で農薬や化学肥料を使わずに栽培された食材を使った献立です。

今回は、ミシュラン一つ星とグリンスターに選ばれた市内のフランス料理店「ランソレイエ」のオーナー高見シェフのプロデュースによる特別献立を実施し、子供たちはたいへん美味しくいただきました。



6年生 宿泊学習 (金沢市キゴ山ふれあい研修センター・石川県立歴史博物館 等)

12月9日(木)・10日(金)、6年生は宿泊学習を行いました。

出発式で校長先生から『友達と仲間の違い』について考える2日間にしよう』という課題を出された子供たちは「仲間と協力すること」を意識して活動しました。

キゴ山に着いて最初に行った活動は、活動係が考えたレクリエーションです。「学年の仲間」との絆を深めるなんでもバスケット、「班の仲間」と協力して行う伝言ゲーム、ジェスチャーゲームを行いました。どのゲームにおいても仲間と協力する姿が見られました。

午後からは、12月という時節柄、屋内での活動を予定していましたが、好天に恵まれ、太陽の下、屋外での活動を行うことができました。オリエンテーリングでは、チェックポイントを時間内にできるだけ多く回ろうと、キゴ山の自然に親しみながら協力してゴールまでたどり着きました。バルーン水ロケットを飛ばす活動では「水の量はどれくらいにしようか?」「空気はたくさん入れるといいよ」など、班の仲間と声を掛け合いながら協力して活動しました。子供たちは、高く遠くまで飛ばすバルーン水ロケットに大きな歓声をあげていました。



夜には、観察デッキで燦然と輝く星や国際宇宙ステーションが移動する瞬間を見ることができ、非日常を楽しむことができた1日となりました。

2日目は「石川県立歴史博物館」「国立工芸館」「石川県立美術館」へ行き、金沢の歴史を学んだり、伝統工芸品を鑑賞したりしました。子供たちは興味をもって熱心に見学し、有意義な時間を過ごしました。

7月には中止となってしまいましたが、保護者の方々のご理解とご協力のおかげで、とても充実した2日間を過ごすことができました。卒業まで残り3か月。この宿泊学習で再確認した「仲間と協力することの大切さ」を忘れず、さらに絆が深まった49人が笑顔で卒業できるよう支援していきます。

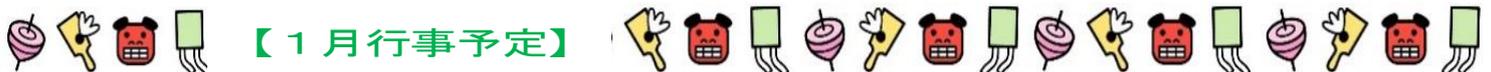
5年生 親子で作って楽しんで



10月24日(日)に学年活動で、5年生の子供たちは、自ら田植えや刈り取りをしたもち米を使って、親子でおはぎ作りを行いました。地元の製菓会社にもご協力いただき、もち米を使った菓子の出前工場見学も体験しました。おはぎ作りでは、炊いたもち米を袋に入れ、粒が少し残るようにつぶしました。



粘り気が強いもち米の扱いに苦労しながらも、親子で楽しくおはぎを作りました。出前工場見学では、時間をかけて米菓子が作られていることを知り、「食べてみたい。」という思いをもちました。



【1月行事予定】

| | | | | | |
|----|---|---|----|---|--|
| 1 | 土 | 元日 | 17 | 月 | 家庭学習定着週間(～23日) 下校指導の日 |
| 2 | 日 | | 18 | 火 | |
| 3 | 月 | | 19 | 水 | |
| 4 | 火 | | 20 | 木 | 4・5年スキー教室 123年下校 14:55・456年下校 15:45 |
| 5 | 水 | | | | |
| 6 | 木 | 冬季休業終了 | | | |
| 7 | 金 | 始業式 書初大会 給食開始 全校一斉下校 13:30 | 21 | 金 | |
| | | | 22 | 土 | |
| 8 | 土 | | 23 | 日 | |
| 9 | 日 | | 24 | 月 | |
| 10 | 月 | 成人の日 | 25 | 火 | 3・6年スキー教室 123年下校 14:55・456年下校 15:45 |
| 11 | 火 | 全校一斉下校 14:55 | 26 | 水 | |
| 12 | 水 | 体位測定(～14日) 全校一斉下校 14:55 | 27 | 木 | 避難訓練(積雪時火災対応) 委員会活動 1234年下校 14:55・56年下校 15:45 |
| 13 | 木 | ボランティアデー クラブ活動 123年下校 14:55・456年下校 15:45 | 28 | 金 | 2年校外学習「雪遊び(砺波青少年自然の家)」 5年いのちの教育 上履き洗いの日 |
| 14 | 金 | すこやかデー ボランティアデー | 29 | 土 | |
| 15 | 土 | | 30 | 日 | |
| 16 | 日 | | 31 | 月 | 全校一斉下校 14:30 |